


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和3年11月11日

山北町議会議長 児玉 洋一 殿

| | | | | | |
|--|-------------|------|----|-------|---|
| 受付番号 | 第5号 | 質問議員 | 7番 | 瀬戸 伸二 |  |
| 件名 | 時代に合った災害対策を | | | | |
| 要 旨 | | | | | |
| <p>近年温暖化の影響により、台風の大型化や線状降水帯が発生し日本各地で災害が起きている。もはや時間降雨量100ミリの時代が到来したと言っても過言ではなかろう。大雨に伴う治水・土砂災害などの対策は、山北町では時代に適合しているであろうか。</p> <p>また、富士山噴火についても専門家は、「いつ起きてもおかしくない」と指摘している。</p> <p>災害は、何時、何処で起こるかわからない。よって万全の準備が必要と考え質問する。</p> | | | | | |
| 1 ハザードマップは地域住民と町とで危険箇所の認識の共有はできているか。 | | | | | |
| 2 防災官の取り組み実績と、新しい防災に特化した専門部署の設置に向けての考えは。 | | | | | |
| 3 町長は座談会等で、地域防災リーダーの必要性を述べられているが、具現化はできるのか。 | | | | | |
| 4 民有地（農地）被災の支援についての考えは。 | | | | | |